

(案)

フェリムゾン 農薬蜜蜂影響評価書

2024年12月24日

農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会

目 次

＜経緯＞	2
＜農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿＞（第 15 回）	2
I. 評価対象農薬の概要	3
1. 有効成分の概要.....	3
2. 有効成分の物理的・化学的性状.....	4
3. 申請に係る情報.....	5
4. 作用機作.....	5
5. 適用病虫害の範囲及び使用方法（40 製剤、別添参照）	6
II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要	8
1. ミツバチに対する安全性に係る試験.....	8
2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）	9
3. 花粉・花蜜残留試験.....	10
4. 蜂群への影響試験.....	10
III. 毒性指標.....	11
1. 毒性試験の結果概要.....	11
2. 毒性指標値.....	11
3. 毒性の強さから付される注意事項.....	11
IV. 暴露量の推計	11
V. 評価結果.....	12
評価資料	12
評価資料（公表文献）	12

<経緯>

令和 5 年 (2023年) 9 月 21 日	農業資材審議会への諮問
令和 6 年 (2024年) 12 月 24 日	農業資材審議会農薬分科会 農薬蜜蜂影響評価部会 (第15回)

<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿> (第 15 回)

(委員)	(臨時委員)	(専門委員)
五箇 公一	中村 純	永井 孝志
山本 幸洋		横井 智之

フェリムゾン

I. 評価対象農薬の概要

1. 有効成分の概要

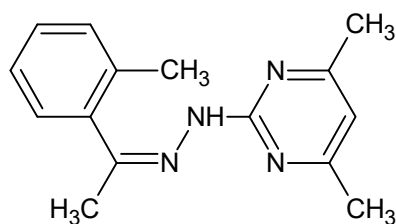
- | | |
|-----------|--|
| 1.1 申請者 | 住友化学株式会社 |
| 1.2 登録名 | フェリムゾン
(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチルピリミジン-2-イルヒ
ドラゾン |
| 1.3 一般名 | ferimzone (ISO 名) |
| 1.4 化学名 | |
| IUPAC名 : | (Z)-2'-methylacetophenone 4,6-dimethylpyrimidin-2-ylhydrazone |
| CAS名 : | 4,6-dimethyl-2(1 <i>H</i>)-pyrimidinone (2 <i>Z</i>)-[1-(2-methylphenyl)ethylidene]
hydrazone
(CAS No. 89269-64-7) |
| 1.5 コード番号 | TF-164 |

1.6 分子式、構造式、分子量

分子式

C₁₅H₁₈N₄

構造式



分子量

254.33

2. 有効成分の物理的・化学的性状

試験項目			純度 (%)	試験方法	試験結果
色調・形状			100	目視	白色・固体(粉末)
臭気			100	官能法	無臭
融点			100	OECD 102	174 °C
沸点			100	減圧蒸留法	測定不能 (150 °C以上で昇華、27~40 Pa)
密度			100	OECD 109	0.660 g/cm ³ (20 °C)
蒸気圧			97.2	気体流動法	4.12 × 10 ⁻⁶ Pa (20 °C)
熱安定性			100	OECD 113	150 °C以下で安定
溶解度	水		100	OECD 105	208 mg/L (20 °C)
	有機溶媒	ヘキサン	100	OECD 105	0.991 g/L (20 °C)
		トルエン			39.6 g/L (20 °C)
		ジクロロメタン			454 g/L (20 °C)
		アセトン			30.2 g/L (20 °C)
		メタノール			225 g/L (20 °C)
		酢酸エチル			22.8 g/L (20 °C)
解離定数 (pK _a)			100	OECD 112	4.41 (25 °C)
1-オクタノール／水分配係数 (log P _{ow})			100	フラスコ振とう法	2.9 (25°C、pH 7)
加水分解性			100	記載なし	半減期 6.2 時間 (25 °C、pH 1.2) 半減期 2.3 日 (25 °C、pH 3) 半減期 12.5 日 (25 °C、pH 5) 半減期 188 日 (25 °C、pH 7) 半減期 8.6 年 (25 °C、pH 9)
水中光分解性			100	EPA 161-2	半減期 <0.25時間 (pH 9、温度調節せず、自然太陽光*) *大阪(北緯35度)、2.2×10 ³ w/m ² 、300~3000 nm

試験項目	純度 (%)	試験方法	試験結果																											
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル	100		<table><tr><th>極大吸収波長 (nm)</th><th>吸光度</th><th>モル吸光係数 (L mol⁻¹ cm⁻¹)</th></tr><tr><td colspan="3">中性</td></tr><tr><td>264</td><td>1.01</td><td>2.58 × 10⁴</td></tr><tr><td colspan="3">酸性</td></tr><tr><td>258</td><td>0.873</td><td>2.22 × 10⁴</td></tr><tr><td>319</td><td>0.347</td><td>8.82 × 10³</td></tr><tr><td colspan="3">アルカリ性</td></tr><tr><td>216</td><td>0.387</td><td>9.85 × 10³</td></tr><tr><td>264</td><td>1.01</td><td>2.57 × 10⁴</td></tr></table>	極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)	中性			264	1.01	2.58 × 10 ⁴	酸性			258	0.873	2.22 × 10 ⁴	319	0.347	8.82 × 10 ³	アルカリ性			216	0.387	9.85 × 10 ³	264	1.01	2.57 × 10 ⁴
		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)																										
		中性																												
		264	1.01	2.58 × 10 ⁴																										
		酸性																												
		258	0.873	2.22 × 10 ⁴																										
		319	0.347	8.82 × 10 ³																										
		アルカリ性																												
		216	0.387	9.85 × 10 ³																										
264	1.01	2.57 × 10 ⁴																												
試験項目	試験方法	試験結果																												
土壌吸着係数	記載なし	K ^{ads} _{Foc} : 171~8105 (5種類の国内土壌)																												
土壌残留性	記載なし	水和剤、水田土壌(2種類) : 半減期 2~9日 (土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)																												
	記載なし	水和剤、畑地土壌(2種類) : 半減期 2~17日 (土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)																												

3. 申請に係る情報

フェリムゾンは、2024年11月現在、韓国、ベトナム、マレーシア、台湾で登録されている。

4. 作用機作

フェリムゾンはピリミジノンヒドラゾン系化合物であり、いもち病菌等の膜機能又は脂質生合成系に作用して、菌糸生育及び孢子形成を阻害することで殺菌効果を示すと考えられている。

(FRAC 分類 : U14[※])

※参照 : <https://www.frac.info/>

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（40 製剤、別添参照）

- ・ブラシン粉剤D L及びホクコーブラシン粉剤D L
（フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
- ・ブラシンバリダ粉剤D L
（バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
- ・ノンブラス粉剤D L
（トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）
- ・ノンブラスバリダ粉剤D L
（トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）
- ・ブラシントレボン粉剤D L及びホクコーブラシントレボンD L粉剤
（エトフェンプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
- ・ノンブラストレボン粉剤D L
（エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）
- ・ブラシントレバリダ粉剤D L及びホクコーブラシントレバリダ粉剤D L
（エトフェンプロックス 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
- ・ノンブラストレバリダ粉剤D L
（エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）
- ・ブラシントレボン水和剤
（エトフェンプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）
- ・ブラシントレバリダ水和剤
（エトフェンプロックス 5.0 %・バリダマイシン 2.5 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）
- ・タケブラス
（フェリムゾン 30.0 %水和剤）
- ・ホクコーブラシンゾル及びブラシンゾル
（フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
- ・ブラシンバリダゾル及びホクコーブラシンバリダゾル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
- ・ブラシンフロアブル及びホクコーブラシンフロアブル
（フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
- ・ブラシンバリダフロアブル及びホクコーブラシンバリダフロアブル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
- ・ノンブラスフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）

- ・ハスラー粉剤D L
(カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ・ブラシンドントツ粉剤D L
(クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ・ブラシンドントツ H 粉剤 DL
(クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ・ブラシンドントツフロアブル
(クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ・ブラシキラップ粉剤D L及びホクコーブラシキラップ粉剤D L
(エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ・ノンブラスドントツフロアブル
(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)
- ・トルファン及び住化トルファン
(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤)
- ・ノンブラスバリダドントツフロアブル
(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)
- ・ブラシキラップフロアブル及びホクコーブラシキラップフロアブル
(エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ・ハスラーR X粉剤D L
(クロチアニジン 0.50 %・メトキシフェノジド 0.50 %・バリダマイシ 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ・ノンブラスバリダフロアブル
(トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)
- ・ブレードスタークルゾル
(ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)
- ・ブレードスタークル粉剤D L
(ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)
- ・ブレードスタークルRゾル
(ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤)

Ⅱ. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要

1. ミツバチに対する安全性に係る試験

フェリムゾンのミツバチに対する安全性に係る試験を表1に示す。

表1：ミツバチに対する安全性に係る試験

試験の種類	評価段階	試験数	公表文献数*
成虫単回接触毒性試験	第1段階	1	0
成虫単回経口毒性試験		1	0
成虫反復経口毒性試験		0	0
幼虫経口毒性試験		0	0
花粉・花蜜残留試験		0	
蜂群への影響試験	第2段階	0	

*（参考）公表文献の検索結果

（生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野）

データベース名： Web of Science (Core Collection)、MEDLINE、KCI-Korean Journal Database、Russian Science Citation Index、SciELO Citation Index及び J-STAGE
 検索対象期間： 2007年1月1日から2021年12月31日

「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献数	34
-----------------------------------	----



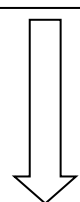
【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】
 明らかに評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性なし」以外の文献数	0
---------------	---



【全文に基づく適合性の有無の評価】
 評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性あり」の文献数	0
-------------	---



【適合性の分類】
 分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性を
 a、b、c の3つの区分に分類
 区分a：リスク評価パラメーターを設定又は見直すために利用可能と判断される文献
 区分b：リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
 区分c：a又はbに分類されない文献

「区分 a」及び「区分 b」に分類された文献数	a	b
	0	0



試験生物として「セイヨウミツバチ (*Apis mellifera*) 」
 を用いている

審議の対象とする文献数	a	b
	0	0

※公表文献に関する情報募集(令和5年11月1日~11月30日)で寄せられた情報は無い。

2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）

2.1 成虫単回接触毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回接触毒性試験が実施され、48 h LD₅₀ は >100 µg ai/bee であった。

表 2：単回接触毒性試験結果（資料 1、2010 年）

被験物質	原体						
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(<i>Apis mellifera</i>)/ 5反復、10頭/区						
準拠ガイドライン	OECD 214(1998)						
試験期間	48 h						
投与溶媒(投与液量)	アセトン(2 µL)						
暴露量 (設定量に基づく有効成分換算値) (µg ai /bee)	対照区 (水) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	6.25	12.5	25	50	100
死亡数/供試生物数 (48 h)	1/50 (2.0 %)	0/50 (0 %)	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
観察された行動異常	なし						
LD ₅₀ (µg ai /bee) (48 h)	>100						

2.2 成虫単回経口毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回経口毒性試験が実施され、48 h LD₅₀ は >140.4 µg ai/bee であった。

表 3：単回経口毒性試験結果（資料 2、1984 年）

被験物質	原体			
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(<i>Apis mellifera</i>)/ 1反復、40~42頭/区			
準拠ガイドライン	記載なし			
試験期間	72 h			
投与溶液(投与液量)	蜂蜜			
助剤(濃度%)	記載なし			
暴露量 (実測値(摂餌量による 補正值)に基づく有効成分 換算値) (µg ai/bee)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	28.87	75.00	140.4
死亡数/供試生物数 (48 h)	0/40 (0.0%)	0/40	0/42	2/41
観察された行動異常	本試験では行動異常を観察の対象としていない			
LD ₅₀ (µg ai/bee) (48 h)	>140.4			

2.3 成虫反復経口毒性試験

該当なし

2.4 幼虫経口毒性試験

該当なし

3. 花粉・花蜜残留試験

該当なし

4. 蜂群への影響試験

該当なし

Ⅲ. 毒性指標

1. 毒性試験の結果概要

毒性試験の結果概要を表 4 に示す。

表 4：各試験の毒性値一覧

毒性試験	毒性値	
	エントポイント	試験1
成虫単回接触毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	>100
成虫単回経口毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	>140.4

2. 毒性指標値

フェリムゾンの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標値は以下のとおりとした（表 5）。

(1) 成虫単回接触毒性

48h LD₅₀ 値 (>100 μg ai/bee) を採用し、毒性指標値を 100 μg ai/bee とした。

(2) 成虫単回経口毒性

48h LD₅₀ 値 (>140.4 μg ai/bee) を採用し、毒性指標値を 140 μg ai/bee とした。

表 5：フェリムゾンのミツバチへの影響評価に用いる毒性指標値

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値(単位)	
成虫	単回接触毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	100
	単回経口毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	140

3. 毒性の強さから付される注意事項

成虫単回接触毒性及び成虫単回経口毒性共に LD₅₀ は 11 μg/bee 以上であったため、注意事項は要しない。

Ⅳ. 暴露量の推計

本剤は、昆虫成長制御剤に該当せず、成虫の急性接触毒性（単回接触毒性試験の LD₅₀ 値）が 11 μg/bee 以上であること、及び成虫の急性接触毒性以外の毒性値が超値（成虫単回経口毒性試験 LD₅₀ : >140.4 μg/bee）であることから、1 巡目の再評価において、リスク評価を行う対象とはしない。そのため、暴露量の推計は行わない。

V. 評価結果

フェリムゾンは、申請された使用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

評価資料

資料 番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	2010	Ferimzone Technical Grade – Acute Contact Toxicity to the Honeybee <i>Apis mellifera</i> L. in the Laboratory Eurofins Agrosience Services GmbH Report No.: TEW-0060 GLP、未公表	住友化学(株)
2	1984	TK-11643Mのミツバチに対する経口毒性 武田薬品工業株式会社 Report No.: TEW-0070J 非GLP、未公表	住友化学(株)
3	2022 (2023修正)	農薬取締法に基づく農薬有効成分の再評価制度に係る公表文献調査報告書 有効成分名：フェリムゾン、TEG-0008J、 公表	住友化学(株)

評価資料（公表文献）

該当なし

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（フェリムゾン）

目 次

1. 登録番号 17948：ブラシン粉剤D L、 登録番号 17949：ホクコーブラシン粉剤D L （フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）	4
2. 登録番号 17951：ブラシンバリダ粉剤D L （バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）	4
3. 登録番号 17954：ノンブラス粉剤D L （トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）	5
4. 登録番号 17955：ノンブラスバリダ粉剤D L （トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）	5
5. 登録番号 18170：ブラシントレボン粉剤D L、 登録番号 18171：ホクコーブラシントレボンD L粉剤 （エトフェンプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）	6
6. 登録番号 18173：ノンブラストレボン粉剤D L （エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）	6
7. 登録番号 18174：ブラシントレバリダ粉剤D L、 登録番号 18175：ホクコーブラシントレバリダ粉剤D L （エトフェンプロックス 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）	7
8. 登録番号 18177：ノンブラストレバリダ粉剤D L （エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）	8
9. 登録番号 18232：ブラシントレボン水和剤 （エトフェンプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）	8
10. 登録番号 18235：ブラシントレバリダ水和剤 （エトフェンプロックス 5.0 %・バリダマイシン 2.5 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）	9
11. 登録番号 18526：タケブラス （フェリムゾン 30.0 %水和剤）	9
12. 登録番号 18755：ホクコーブラシンゾル、 登録番号 18756：ブラシンゾル （フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）	10

1 3.	登録番号 19023 : ブラシンバリダゾル	
	登録番号 19024 : ホクコーブラシンバリダゾル	
	(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)	10
1 4.	登録番号 19165 : ブラシンフロアブル	
	登録番号 19166 : ホクコーブラシンフロアブル	
	(フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)	11
1 5.	登録番号 19352 : ブラシンバリダフロアブル	
	登録番号 19353 : ホクコーブラシンバリダフロアブル	
	(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)	11
1 6.	登録番号 20090 : ノンプラスフロアブル	
	(トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)	12
1 7.	登録番号 20804 : ハスラー粉剤D L	
	(カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)	13
1 8.	登録番号 21186 : ブラシンドアントツ粉剤D L	
	(クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)	14
1 9.	登録番号 21218 : ブラシンドアントツ H 粉剤DL	
	(クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)	14
2 0.	登録番号 21702 : ブラシンドアントツフロアブル	
	(クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)	15
2 1.	登録番号 21889 : ブラシンキラップ粉剤D L	
	登録番号 22964 : ホクコーブラシンキラップ粉剤D L	
	(エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)	15
2 2.	登録番号 22257 : ノンプラスダントツフロアブル	
	(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)	16
2 3.	登録番号 22568 : トルファン	
	登録番号 : 24421 : 住化トルファン	
	(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤)	16
2 4.	登録番号 22891 : ノンプラスバリダダントツフロアブル	
	(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)	17
2 5.	登録番号 22927 : ブラシンキラップフロアブル	
	登録番号 22963 : ホクコーブラシンキラップフロアブル	
	(エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)	17
2 6.	登録番号 23602 : ハスラーR X粉剤D L	
	(クロチアニジン 0.50 %・メトキシフェノジド 0.50 %・バリダマイシ 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)	18

27. 登録番号 23690 : ノンブラスバリダフロアブル (トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)	19
28. 登録番号 24346 : ブレードスタークルゾル (ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)	19
29. 登録番号 24347 : ブレードスタークル粉剤DL (ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)	20
30. 登録番号 24608 : ブレードスタークルRゾル (ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤)	20

1. 登録番号 17948 : ブラシン粉剤DL、
登録番号 17949 : ホクコーブラシン粉剤DL
(フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	内穎褐変病 稲こうじ病 もみ枯細菌病	4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内	3 回以内
	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌) 変色米(エビコッカム菌)	3~4 kg/10 a					

2. 登録番号 17951 : ブラシンバリダ粉剤DL
(バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 変色米(アルタナリア菌) 変色米(カーブラリア菌) 変色米(エビコッカム菌)	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

3. 登録番号 17954 : ノンブラス粉剤DL

(トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米(カーブリア菌)	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回以内、 本田では 3 回 以内)	2 回以内
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 稲こうじ病	4 kg/10 a					

4. 登録番号 17955 : ノンブラスバリダ粉剤DL

(トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 変色米(カーブリア菌)	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱 灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内

5. 登録番号 18170 : ブラシントレボン粉剤DL、
登録番号 18171 : ホクコーブラシントレボンDL粉剤
(エトフェンプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内	2 回以内	3 回以内
	カメシ類	4 kg/10 a						

6. 登録番号 18173 : ノンブラストレボン粉剤DL
(エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	2 回以内
	カメシ類	4 kg/10 a						

7. 登録番号 18174 : ブラシントレバリダ粉剤DL、

登録番号 18175 : ホクコーブラシントレバリダ粉剤DL

(エトフェンプロックス 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(アルナリア菌) 変色米(カーブラリア菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類 イナゴ類	3~4 kg/10 a	収穫 14日前 まで	2回 以内	散布	3回以内	6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	2回以内	3回以内
	カメシ類	4 kg/10 a							

8. 登録番号 18177 : ノンブラストレバリダ粉剤DL

(エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 変色米(カーブ リア菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類 コブノメイガ	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回以 内、本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内
	カメシ類	4 kg/10 a							

9. 登録番号 18232 : ブラシントレボン水和剤

(エトフェンプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の使用 回数	使用方法	エトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数	フェリムゾン を含む農薬 の総使用 回数	フサライドを含 む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウンカ類 カメシ類	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内	2 回以内	3 回以内

10. 登録番号 18235 : ブラシントレバリダ水和剤

(エトフェンプロックス 5.0 %・バリダマイシン 2.5 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ツマグロヨコバイ ウカ類 カメムシ類	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布

エトフェンプロックスを含む 農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む 農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の総使用回数	フサライドを含む 農薬の総使用回数
3 回以内	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

11. 登録番号 18526 : タケブラス

(フェリムゾン 30.0 %水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内

1 2. 登録番号 18755 : ホクコーブラシンゾル、
登録番号 18756 : ブラシンゾル
(フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	フェリムゾンを含 む農薬の 総使用回数	フサライドを含 む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	原液	120 mL/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	空中散布	2 回以内	3 回以内
		30 倍	3 L/10 a					
	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯 病菌) 内穎褐変病 もみ枯細菌病	8 倍	800 mL/10 a			無人ヘリコプター による散布		

1 3. 登録番号 19023 : ブラシンバリダゾル
登録番号 19024 : ホクコーブラシンバリダゾル
(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液 量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	バリダマイシンを含 む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含 む農薬の 総使用回数	フサライドを含 む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 紋枯病	30 倍	3 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	空中散布	6 回以内(育苗箱 灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内
		8 倍	800 mL/10 a			無人ヘリコプター による散布			

1 4. 登録番号 19165 : ブラシフロアブル

登録番号 19166 : ホクコーブラシフロアブル

(フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	フェリムゾンを含 む農薬の 総使用回数	フサライドを含 む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉 枯病菌) 褐条病 変色米(カーブラ ア菌) 変色米(エピコッカ ム菌) 変色米(アルタリア 菌)	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内	3 回以内
	稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 墨黒穂病	300 倍	25 L/10 a			空中散布		
		30 倍	3 L/10 a					
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機 による散布		

1 5. 登録番号 19352 : ブラシンバリダフロアブル

登録番号 19353 : ホクコーブラシンバリダフロアブル

(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	バリダマイシンを含 む農薬の総 使用回数	フェリムゾンを含 む農薬の 総使用回数	フサライドを含 む農薬の 総使用 回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉 枯病菌) 変色米(カーブラ ア菌) 疑似紋枯症(赤 色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐 色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐 色紋枯病菌) 内穎褐変病 ごま葉枯病 もみ枯細菌病	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 14 日 前まで	2 回 以内	散布	6 回以内(育 苗箱灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内
		30 倍	3 L/10 a			空中散布			
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空 機による 散布			

16. 登録番号 20090：ノンブラスフロアブル

(トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	トリクラゾールを 含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病 菌) 変色米(アルタリア菌) 変色米(エビコッカム菌) 変色米(カーブラリア菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 稲こうじ病	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への 処理は 1 回 以内、 本田では 3 回以内)	2 回以内
	いもち病	300 倍	25 L/10 a			空中散布		
		原液	120 mL/10 a					
		8 倍	800 mL/10 a					
		30 倍	3 L/10 a					
		8 倍	800 mL/10 a					

17. 登録番号 20804：ハスラー粉剤DL

(カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネツトムシ フタホシコヤカ いもち病	3~4 kg/10 a	収穫 21 日前 まで	2 回以内	散布
	コブノメイガ カメシ類 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブリア菌) 内穎褐変病	4 kg/10 a			

カルタップを含む 農薬の 総使用回数	クロチアニジンを 含む農薬の 総使用回数	バリダマイシンを 含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数	フサライドを 含む農薬の 総使用回数
6 回以内(浸種前は 1 回以内、浸種後か ら直播での種時 又は移植時までの 処理は 1 回以内)	4 回以内(直播では種時 又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散 布は合計 3 回以内)	6 回以内(育苗箱 灌注は 1 回以 内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

18. 登録番号 21186 : ブラシダントツ粉剤DL

(クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロチアニジンを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数	フサライドを 含む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類 フタホシコガ	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内(直播では種 時又は移植時までの処 理は 1 回以内、本田での 散布、空中散布、無人ヘリ 散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

19. 登録番号 21218 : ブラシダントツ H 粉剤DL

(クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロチアニジンを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用 回数	フサライドを 含む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ウカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタホシコガ イネツトムシ カメシ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内(直播では種 時又は移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布、空中 散布、無人ヘリ散布は 合計3回以内)	2 回以内	3 回以内

20. 登録番号 21702 : ブラシントツフロアブル

(クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロチアニジンを含 む農薬の総使 用回数	フェリムゾンを 含む農薬 の総使用 回数	フサライドを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメシ類	8 倍	800 mL/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	無人ヘリコ プターによ る散布	4 回以内(直播 では種時 又は移植時ま での処理は 1 回以内、本田 での散布、空中 散布、無人ヘリ散 布は合計 3 回 以内)	2 回以内	3 回以内
		30 倍	3 L/10 a			空中散布			
		300 倍	25 L/10 a			散布			
	いもち病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) ごま葉枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類 イナゴ類	1000 倍	60~150 L/10 a						

21. 登録番号 21889 : ブラシキラップ粉剤DL

登録番号 22964 : ホクコーブラシキラップ粉剤DL

(エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	エチプロールを 含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数	フサライドを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) カメシ類 ウンカ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内(は種時 (直播)又は移植 時までの処理は 1 回以内)	2 回以内	3 回以内

2 2. 登録番号 22257：ノンブラスダントツフロアブル

(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 カメシ類	8 倍	800 mL/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	空中散布
	いもち病 カメシ類	300 倍	25 L/10 a			無人航空機に よる散布
	いもち病 ウカ類 カメシ類	1000 倍	60~150 L/10 a			散布

クロチアニジンを含む農薬の 総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数
4 回以内 (直播では種時又は移植時までの 処理は 1 回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は 合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	2 回以内

2 3. 登録番号 22568：トルファン

登録番号：24421：住化トルファン

(バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	使用量		使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	バリダマイシン を含む 農薬の 総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の 総使用回数
		薬量	希釈 水量					
日本芝	ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブアラ葉枯病 葉腐病(ラジハッチ)	0.5~1 g/m ²	1 L/m ²	発病 初期	8 回 以内	散布	8 回以内	8 回以内
西洋芝 (ベントグ ラス)	ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブアラ葉枯病 葉腐病(ブラウンハッチ) 炭疽病	0.5~1 g/m ²	1 L/m ²	発病 初期	8 回 以内	散布	8 回以内	8 回以内
	ダレースポット病	0.5 g/m ²						
	ピシム病 赤焼病		0.5~1 L/m ²					
	葉腐病(ブラウンハッチ)		0.2 L/m ²					

24. 登録番号 22891：ノンブラスバリダダントツフロアブル

(クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病	8 倍	800 mL/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	無人航空機 による散布
	紋枯病	300 倍	25 L/10 a			散布
	ウカ類					
	カメムシ類	1000 倍	60~150 L/10a			
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)					
	イナゴ 類					

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む 農薬の総使用回数	フェリムゾンを 含む農薬の総使用回数
4 回以内(直播では種時 又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は合 計 3 回以内)	4 回以内(育苗箱への処理 は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	6 回以内(育苗箱灌 注は 1 回以内、本田 では 5 回以内)	2 回以内

25. 登録番号 22927：ブラシキクラブフロアブル

登録番号 22963：ホクコーブラシキクラブフロアブル

(エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	エチプロールを 含む農薬 の総使用 回数	フェリムゾンを 含む農薬 の総使用 回数	フサライドを 含む農薬 の総使用 回数
稲	いもち病 カメシ類	300 倍	25 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内 (は種時(直 播)又は移 植時まで の処理は 1 回以内)	2 回以内	3 回以内
	いもち病 カメシ類 ウカ類	1000 倍	60~150 L/10 a			無人ヘリコ プターによる 散布			
		8 倍	800 mL/10 a						

26. 登録番号 23602 : ハスラーRX粉剤DL

(クロチアニジン 0.50 %・メトキシフェノジド 0.50 %・バリダマイシ 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ウカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ イネツトムシ フタホヒコヤガ ニカメイチュウ カメムシ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布
	内穎褐変病 変色米(アルタリア菌) 変色米(カーブリア菌) 稲こうじ病	4 kg/10 a			

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	メトキシフェノジドを含む 農薬の総使用回数	バリダマイシを含む 農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の 総使用回数	フサライドを含む 農薬の 総使用回数
4 回以内(直播での種時 又は移植時までの処理は 1 回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人航空機散布は 合計 3 回以内)	3 回以内	6 回以内(育苗箱 灌注は 1 回以内、 本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

27. 登録番号 23690：ノンブラスバリダフロアブル

(トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布
	もみ枯細菌病	8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布
	いもち病 紋枯病	300 倍	25 L/10 a			散布

トリシクラゾールを含む農薬の 総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以 内、本田では 5 回以内)	2 回以内

28. 登録番号 24346：ブレードスタークルゾル

(ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 稲こうじ病 内穎褐変病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布
	もみ枯細菌病 変色米(カーブリア菌) 変色米(アルタナリア菌)	300 倍	25 L/10 a			
	ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類	8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布

ジノテフランを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数	フサライドを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

29. 登録番号 24347 : ブレードスタークル粉剤DL

(ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 ツマグロヨコバイ カメシ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布

ジノテフランを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数	フサライドを含む農薬の 総使用回数
4 回以内（育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3 回以内）	2 回以内	3 回以内

30. 登録番号 24608 : ブレードスタークルRゾル

(ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 カメシ類 ツマグロヨコバイ	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布
		300 倍	25 L/10 a			
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布

ジノテフランを含む農薬の 総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の 総使用回数	フサライドを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内